



New Frontier for the Global Governance and Multinationalism グローバルガバナンスと多国間主義の新たな地平

The U.S.-led post WWII world order including U.N. system, IMF and the World Bank, and G7 confronts with a large variety of new challenges: the rise of such emerging countries as China, growing role of transnational non-state actors, the rapid expansion of e-commerce and cybercrime, and ever-increasing serious global environmental problems. International society undergoes power in transition. Under such circumstances, the existing international organizations are likely to come up against difficulties sooner or later if they remain unchanged. In November 2014, at the international symposium hosted by us in cooperation with University of Niigata Prefecture, we discussed the potential of multi-nationalism. Based upon that achievement, this Symposium will explore the potential of various forms of multinational cooperative frameworks including the following modes: regional and transnational cooperative arrangements, loose coalitions in which a variety of actors participate, ad-hoc multinational cooperative frameworks in specific regions, new forms of global governance, architectures, institutions, etc.

国連、IMF、世界銀行、G7など、アメリカが主導した戦後の国際秩序は、中国の台頭、越境的な非国家主体の役割の増大、電子商取引やサイバー空間における犯罪の急増、悪化し続ける地球環境問題など様々な問題から挑戦を受けています。国際社会が今「力の移行」を経験する中で、既存の国際機関が既存のままでは危機は乗り越えられないかもしれません。2014年11月に新潟県立大学と共催したシンポジウムでは、多国間主義の可能性について議論しました。そこで本シンポジウムでは、地域的、越境的な協調体制や多様なアクターが参加する緩やかな連携、特定地域における暫定的協力枠組み、新たな形態をとるグローバルガバナンスやアーキテクチャ、制度など新たな国際協力体制の可能性について探ります。

Date & Time: October 16th 2015, 10:30 - 17:00

*Venue open 10:00

**Venue: Faculty Club 2F, Reception Hall,
Hiroshima University (Higashi-Hiroshima Campus)**

*Admission free. 100 seats available.

Language: English / Japanese (with simultaneous interpretation)

Hosted by : Institute for Peace Science, Hiroshima University

【日 時】 2015年10月16日(金) 10:30-17:00

※開場10:00

**【場 所】 広島大学東広島キャンパス
学士会館2階レセプションホール**

※入場無料(先着100名)

【言 語】 英語 / 日本語(同時通訳付)

【主 催】 広島大学平和科学研究センター

Seat availability is limited so please apply by e-mail or phone if you are interested in attending. But, You can join in the symposium without reservation, if the seats are left. 参加ご希望の方は、下記内容をFAX(送信表不要)、またはメール(件名を「シンポ申込み:氏名」とする)にて事前にお申し込み下さい。(↓Fax用) 定員を超えた場合、お断りさせて頂くことがあります。また、席に余裕がある場合は、当日参加も受け付けます。

| | | |
|----------------|--|---|
| Name ご氏名 | | Please check which part you will attend. 参加ご希望の部にレを 付けてください。 <input type="checkbox"/> Session 1/ I 部 <input type="checkbox"/> Keynote speech/ 基調講演 <input type="checkbox"/> Session 2/ II 部 |
| Company ご所属 | | |
| Tel or E-mail | | |

<申し込み先/Contact Address>

広島大学平和科学研究センター
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89
Institute for Peace Science, Hiroshima University
Higashisenda-machi 1-1-89, Naka-ku, Hiroshima 730-0053
TEL : 082-542-6975 / FAX : 082-245-0585
E-mail : heiwa@hiroshima-u.ac.jp
URL : <http://home.hiroshima-u.ac.jp/heiwa/>

New Frontier for the Global Governance and Multinationism グローバルガバナンスと多国間主義の新たな地平



10:30 ~ 10:40 Opening Remarks/ 趣旨説明・開会の言葉



Tsuneo Nishida
西田恒夫
広島大学平和科学研究センター長

1970年に東京大学法学部卒業後、外務省入省。1999~2001年在ロス・アンジェルス日本国総領事、2001~02年経済協力局長、2002~05年に総合外交政策局長、2005~07年に外務審議官(政務)、2007~10年に特命全權大使カナダ駐劄兼国際民間航空機関日本政府代表、2010~13年に国連日本政府常駐代表特命全權大使などを歴任。2014年4月より広島大学平和科学研究センター長(同兼任教授)。

10:40 ~ 12:30 Session 1: How to Cope with New Challenges and Evolution of Global Governance?
第I部：グローバルガバナンスの新たな展開と課題への挑戦



Takashi Inoguchi
猪口孝
新潟県立大学学長



Kazutoshi Aikawa
相川 一俊
外務省総合外交政策局
軍縮不拡散・科学部長 大使



Hajime Nishitani
西谷 元
広島大学副学長(国際担当)

新潟県立大学学長、東京大学名誉教授。東京大学卒業後、マサチューセッツ工科大学にて政治学博士号取得。東京大学東洋文化研究所教授、国連大学上級副学長、日本国際政治学会理事長、日米教育委員会委員などを経て現職。アジア全域の「生活の質」世論調査指導者。専攻は政治学、国際関係論。著書100冊以上。最近では『現代市民の国家観』(東京大学出版会、2010年)、『実証政治学構築への道』(ミネルヴァ書房、2011年)、『ガバナンス』(東京大学出版会、2012年)、『日米中のトライアングル』(バルグレーブ・マクミラン、2013年)、『データでみるアジアの幸福度』(岩波書店、2014年)。

1960年福岡県生まれ。1983年に東京大学法学部卒業後、外務省入省。国際連合日本政府代表部一等書記官、参事官、在マレーシア日本国大使館参事官、総合外交政策局国連政策課長を歴任。2006~08年アジア大洋州地域政策課長兼内閣事務官 内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付)、2008~10年在イラン日本国大使館公使、2010~13年 国際連合日本政府代表部公使、2013~14年大臣官房参事官兼中南米局、経済局、2014~15年内閣官房 内閣審議官(内閣官房副長官補付)、領土・主権対策企画調整室長、内閣広報室を経て、2015年7月より現職。

広島大学副学長、社会科学研究所教授。オークランド大学修士課程修了、アムステルダム大学修士課程修了、一橋大学大学院博士課程、単位取得退学。ハーバード法学院とカリフォルニア大学バークレー校法科大学院でフルブライト客員教授を務めた。専門は、国際法、国際機関法。INU(国際大学間ネットワーク)において、法体制、戦争と平和についての国際法などを教える。著書に「これでわかる?憲法」(有信堂高文社、2001年)、「国際法資料集 2010年度版」(日本評論社、2010年)など。

12:30 ~ 13:40 Lunch break/ お昼休憩

13:40 ~ 14:20 Keynote speech/ 基調講演



Vuk JEREMIĆ
President of Center for
International Relations
and Sustainable Development (CIRSD)
and Former President of
the 67th Session of
the UN Assembly

1975年ベオグラード生まれ。ケンブリッジ大学卒業(理論物理学)、ハーバード大学修士課程修了(行政学)。大学卒業後、ドイツ銀行財務アナリスト、ロンドンの薬品企業等で勤務。その後、2000~03年ユーゴスラビア連邦共和国電気通信相補佐官、2003~04年 セルビア・モンテネグロ国家連合国防相補佐官、2004~07年セルビア共和国大統領上級補佐官(外交政策担当)、民主党運営委員会委員を歴任。2007~12年セルビア共和国外相、2012~13年第67回国連総会議長を務める。現在はミレニアム開発目標(MDGs)を土台にした、2015年以降の開発目標「ポスト2015開発アジェンダ」の策定に向け、持続可能な開発を推進するための研究などを行うセルビアのNPO CIRSDの代表を務める。

14:35 ~ 16:45 Session 2: How to Achieve Sustainable Future with Human Dignity?
第II部：持続可能な未来と人間の尊厳の達成に向けて



Isao Kiso
木曾 功
広島大学平和科学研究センター特任教授
内閣官房参与、前ユネスコ大使



Masami Tamura
田村政美
外務省国際協力局
地球規模課題総括課長



Asami Ogura
小倉亜紗美
広島大学平和科学研究センター助教

広島県出身。1975年に東京大学卒業後、文部省入省。その後大学局、学術国際局ユネスコ国際部などを経て、1996~98年広島県教育委員会教育長、1998~99年文部省高等教育局私学部私学行政課長、1999~2001年文部省学術国際局国際企画課長、2001~02年文部科学省大臣官房国際課長、2002~04年文化庁文化財部長、2004~07年独立行政法人日本学術振興会理事、2007~12年文部科学省国際統括官、2012~13年ユネスコ日本政府代表部特命全權大使などを歴任。2014年4月より内閣官房参与(ユネスコの文化関係施策担当)、広島大学平和科学研究センター特任教授を務める。

1989年に京都大学法学部卒業後、外務省に入省。在ニューヨーク総領事館、アフリカ第二課、地球規模問題課、長崎大学環境科学部、海外広報課、南東アジア第一課、地域政策課などにおける勤務の後、2006年より、在バングラデシュ日本国大使館において経済・経済協力担当参事官、在英国日本国大使館において総務担当参事官として勤務。2012年より国際協力局気候変動課長を務めた。2014年7月より現職。国連を中心とする経済・社会分野における国際協力などを担当。

1981年兵庫県生まれ。2002年に和歌山高等専門学校機械工学科を卒業後、広島大学総合科学部に編入学し、生態学を学ぶ。2009年広島大学大学院生物圏科学研究科修士課程修了、博士(学術)。2009~10年広島大学総合博物館客員研究員、2010~14年広島大学国際センター研究員を経て、2014年4月より現職。専門は、環境平和学、環境教育。環境という観点から平和にアプローチを行っている。NPO法人瀬戸内里海振興会理事、西条・山と水の環境機構運営委員、エコネットひがしひろしま幹事。著書に『黒瀬川流域ガイドブック』(2005年)など。

16:45 ~ 17:00 Closing Remarks/まとめ・閉会の言葉
< MC/司会 >



Noriyuki Kawano/川野徳幸
(広島大学平和科学研究センター教授)

広島大学大学院医歯薬学総合研究科博士課程修了(医学博士)。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授等を経て、2013年6月から広島大学平和科学研究センター教授。専門は原爆・被ばく研究、平和学。



Shinsuke Tomotsugu/友次晋介
(広島大学平和科学研究センター准教授)

2010年名古屋大学大学院修了、博士(法学)。2008年ジョージワシントン大学客員研究員、2011~14年名古屋短期大学英語コミュニケーション学科助教を経て、2014年4月より現職。著書に『対テロ国際協力の構図—多国間連携の成果と課題』(共著)、『アメリカをよめるための18章—超大国を読み解く』(共著)など。

【会場地図】広島大学東広島キャンパス 学生会館2F「レセプションホール」

